

## 当センターにおけるオラパリブ内服による有害事象の現状調査

### 1. 研究の対象

2018年5月以降に当センターでオラパリブによる治療を受けられた方

### 2. 研究目的・方法

オラパリブはプラチナ感受性再発卵巣癌に対する単剤維持療法として使用する新規の PARP 阻害剤です。従来の殺細胞性抗がん剤の治療は奏効率が高いにも関わらず、再発率が高いことが課題となっており、維持療法としてのオラパリブへの期待は高く、実臨床での有害事象についての情報集積が待たれています。そこで、当院におけるオラパリブ内服による有害事象の現状調査を行います。当センターにおいてオラパリブの内服歴がある患者さんを対象とし、患者背景や有害事象の発現状況等は、カルテ内の診療録等を参照して、後ろ向きに調査します。

### 研究期間

倫理審査委員会承認後 ～ 2021年 3月 31日

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、抗がん剤治療の治療歴、副作用等の発生状況、カルテ番号 等

### 4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

大阪国際がんセンター 薬局 金澤 真里

住所：〒541-8567 大阪市中央区大手前3-1-69

電話：06-6945-1181

研究責任者：金澤 真里

-----以上